

3) 高度医療・専門医療の提供等、小児医療の充実

- 奈良県立医科大学附属病院に整備した小児センターを中心に高度医療や専門的な小児医療を提供するとともに、特殊な治療については県内医療機関と県外の小児高度医療機関との広域診療ネットワークによる連携を強化します。
- 奨学金等による医師確保対策を進めます。
- 小児在宅医療を推進するために、関係職種への研修を継続するとともに、医療・保健・福祉・介護の関係機関が連携して、長期療養が必要な小児や家族を支援する体制を構築します。

4) 小児医療における災害対策

- 搬送が必要な小児・妊産婦の情報を収集し、被災地内の適切な医療機関への搬送コーディネートや被災地外への搬送方法、受け入れ体制の情報を収集する小児・周産期災害医療コーディネーターを確保・充実していきます。
- 新興感染症の発生・まん延時においても、地域で小児医療を確保するため、感染症の罹患又は罹患が疑われる小児に対して、救急医療を含む小児医療を実施する医療体制の整備を検討します。

5) 周産期医療における災害対策等

- 搬送が必要な小児・妊産婦の情報を収集し、被災地内の適切な医療機関への搬送コーディネートや被災地外への搬送方法、受け入れ体制の情報を収集する小児・周産期災害医療コーディネーターを確保・充実していきます。また、災害時だけでなく新興感染症等の感染発生のような非常時における周産期医療体制の整備について、検討します。

(数値目標)

(1) 数値目標の詳細

指標	現状値	目標値 計画終了年度	出典等
小児輪番受診者の外来率 ※外来率：入院が不要で帰宅した患者の割合	82.9% R4 (2022)	現状維持	奈良県地域医療連携課による調査